

## (公社) 日本トライアスロン連合 (JTU) 公認初級指導者資格取得の手引き

更新：2012年4月1日

JTU 公認初級指導者資格は、トライアスロンの未経験者や初心者を対象として、競技を安全に、そして正しく指導するための公認指導者資格です。この初級資格は、(公財) 日本体育協会公認「トライアスロン指導員」の専門科目 (40 時間) の 18 時間に該当します。なお、(公財) 日本体育協会公認「トライアスロン指導員」の資格取得には、JTU 公認<初級><中級>指導者資格の取得と、(公財) 日本体育協会公認「共通科目 I」の修了が必要です。

1. 講習会日程と会場 基本的に土曜日・日曜日を利用した 2 日間。  
全国各地で開催。(JTU ウェブマガジン等で発表)

2. 受講資格 20 歳以上の JTU 登録者で、次の①～⑤のいずれかに該当する者。

①	20～30 歳までの男子で 2 時間 20 分以内、同女子で 2 時間 35 分以内での完走記録保持者。対象大会は過去 4 年間のオリンピック距離 (51.5km タイプ)。尚、31 歳以上は上記を基準に年齢が 1 歳増すごとに 1 分をプラスする。 (例. 40 歳男子では 2 時間 30 分以内)
②	ロングディスタンスタイプの場合は、上記①を基準に指導者養成委員会が認めた者。
③	JTU および JTU 加盟団体が認めた者。 (加盟団体の推薦を受け、推薦理由を記載した推薦書を提出する。メール提出基本)
④	JTU コーチングシンポジウム、JTU 指導資格者研修会に参加した者。
⑤	JTU 指導者養成委員会が認めた者。(上記①～④のいずれにも該当しないが、受講を希望する者は、その理由と略歴等を A4 用紙 1 枚程度の文章にまとめて提出する)

3. 受講料 17,000 円 (施設使用料、テキスト代を含む。交通費、宿泊費、食費は各自負担)  
※支払い方法はファイル「8」を参照。

4. カリキュラム

科目	時間
指導者の心得・競技の歴史	1.5
基礎理論 1	1.5
基礎理論 2	1.5
競技ルール	2
コンディショニング実技	2
スイム講義	1
スイム実技	2
バイク講義	1.5
バイクメンテ	2
ラン講義	1
ラン実技	2
合計	18 時間

5. 登録料 5,000 円 (登録期間：受講翌年度 4 月 1 日～4 年間)

6. 初級資格取得の手順

- ① JTU の HP にて講習会開催要項発表
- ② 受講申し込み及び受講料納入
- ③ 講習会受講
- ④ 講習会修了認定及び JTU 理事承認
- ⑤ 登録料納入
- ⑥ 指導者資格証発行
- ⑦ 以降、4 年毎に更新手続き

## (公社) 日本トライアスロン連合 (JTU) 公認中級指導者資格取得の手引き

更新：2012年4月1日

JTU 公認中級指導者資格は、トライアスロンの初心者や中級者を対象として、競技を安全に、そして正しく指導するための公認指導者資格です。この中級資格は、(公財) 日本体育協会公認「トライアスロン指導員」の専門科目(40時間)の22時間に該当します。なお、(公財) 日本体育協会公認「トライアスロン指導員」の資格取得には、JTU 公認<初級><中級>指導者資格の取得と、(公財) 日本体育協会公認「共通科目Ⅰ」の修了が必要です。

1. 講習会日程と会場 基本的に土曜日・日曜日・祝日を利用した3日間。  
全国各地で開催。(JTU ウェブマガジン等で発表)
2. 受講資格  
JTU 公認初級指導者資格を保有している者。(18時間の初級科目を修了している者)  
※2005年度以前に初級指導者養成講習会を受講し、9時間のみ初級科目を修了している者は、下記の4科目についてレポート提出が必要。  
①基礎理論 ②競技ルール ③バイクメンテ ④ラン
3. 受講料 33,000円(施設使用料、テキスト代を含む。交通費、宿泊費、食費は各自負担)  
※支払い方法はファイル「8」を参照。
4. カリキュラム

科目	時間
指導実習1・2・3	6
救急法	4
スイム実技	4
バイク&トランジッション実技	5
バイクメンテ	2
ラン実技	1
合計	22時間

(別途、筆記試験有)

5. 登録料 7,000円(登録期間：受講翌年度4月1日～4年間)
6. 中級資格取得の手順
  - ①JTUのHPにて講習会開催要項発表
  - ②受講申し込み及び受講料納入
  - ③講習会受講
  - ④講習会修了認定(※)及びJTU理事承認  
※筆記試験不合格者はレポート提出
  - ⑤登録料納入
  - ⑥指導者資格証発行
  - ⑦以降、4年毎に更新手続き

以上

(公社) 日本トライアスロン連合 (JTU) 公認初級・中級指導者  
＜資格更新の手引き＞

更新：2012年4月1日

1. 登録有効期間：4年間（講習会受講翌年度4月1日～4年後の3月31日）
2. 更新のお知らせ  
毎年、年度末（1～3月頃）にJTU ウェブサイトに掲載するか、あるいは該当者へメールで配信する。  
講習会受講時のメールアドレスを変更した場合は、事前にJTU 事務局及び指導者養成委員会（詳細はファイル「8」を参照）へ連絡をすること。
3. 更新の手続き
  - ①更新料の納入  
更新料：初級 5,000 円／中級 7,000 円
  - ②登録申請書の提出（メール提出を基本とする。詳細はファイル「8」を参照）
  - ③過去4年間の指導実績を提出  
指導実績が無い場合は、研修（個人的な物も含め）内容等を提出  
指導及び研修実績が無い場合は、トライアスロンに関わる活動について提出  
書式自由、箇条書き程度、メール可
  - ④論文提出（※）  
題名・内容は「トライアスロンの指導に関すること」であれば自由  
書式自由、1,200 字～2,000 字程度  
メール本文及び Word ファイル（同内容の論文をメールと Word で提出）
- （※）有資格4年間の間に最低1回、公認指導者研修会へ参加実績がある場合は論文の提出を免除。公認指導者研修会とはJTU コーチングシンポジウム、JTU 指導資格者研修会、日本体育協会主催の義務研修会を指す。
4. その他 日本体育協会トライアスロン指導員の資格を更新する際は、JTU 中級指導者資格を保有していることが条件となるので、有効期間に注意すること。

以上

(公社) 日本トライアスロン連合 (JTU) 公認初級・中級指導者  
＜資格再交付の手引き＞  
(指導者資格の有効期限が切れた方へ)

更新：2012年4月1日

1. 指導者資格の再交付を希望する際は、下記の必要事項を JTU 事務局及び指導者養成委員会（詳細はファイル「8」を参照）へ連絡する。

氏名

JTU 登録都道府県

JTU 登録番号

失効資格 初級 or 中級

失効年月日（西暦） \_\_\_\_\_年3月31日

2. 登録有効期間：失効期間によって異なるため、詳細は問い合わせ時に通知する。

3. 再交付の手続き

- ①登録料の納入

登録料：初級 5,000 円／中級 7,000 円

- ②登録申請書の提出（メール提出を基本とする）

- ③過去4年間の指導実績を提出

指導実績が無い場合は、研修（個人的なものも含め）内容等を提出

指導及び研修実績が無い場合は、トライアスロンに関わる活動について提出

書式自由、箇条書き程度、メール可

- ④論文提出（※）

題名・内容は「トライアスロンの指導に関すること」であれば自由

書式自由、1,200 字～2,000 字程度

メール本文及び Word ファイル（同内容の論文をメールと Word で提出）

- （※）過去4年間の間に最低1回、公認指導者研修会へ参加実績がある場合は論文の提出を免除。公認指導者研修会とは JTU コーチングシンポジウム、JTU 指導資格者研修会、日本体育協会主催の義務研修会を指す。

以上

## 1. 日本体育協会公認指導者資格概要

日本体育協会（以下、日体協）公認の指導者資格には、指導員、上級指導員、コーチ、上級コーチなど、様々な資格がある。

現在、トライアスロンで認定されているのは「指導員」のみである。

日本トライアスロン連合（以下、JTU）では「コーチ」と「上級コーチ」の資格制度策定に向けて、カリキュラムの整備などを行っている。

資格種別及びカリキュラムの詳細は、下記の web サイトを参照。

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/203/Default.aspx>

## 2. 日体協公認トライアスロン指導員概要

日体協の指導員資格は「専門科目 40 時間以上」と「共通 I」の 2 つを受講する必要がある。

専門科目は「専門」という名称の通り、各競技の専門的な講習を行う。

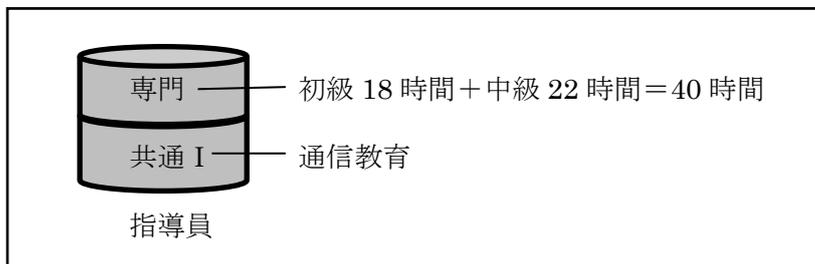
例えば、陸上の場合には日本陸上競技連盟、水泳の場合には日本水泳連盟、そしてトライアスロンの場合は JTU が講習会を行う。

JTU では「初級 18 時間＋中級 22 時間」で 40 時間以上という規定をクリアするように設定している。

共通 I は「共通」という名称の通り、全競技共通の講習であり、陸上も、水泳も、トライアスロンも、講習内容は同じである。

講習形式は座学ではなく、NHK 学園の通信教育を受講する。

テキストを読み、課題を郵送で提出する。



資格取得の基本的な流れは下記の通り。

JTU 初級→JTU 中級→（共通 I）→日体協指導員

JTU 中級合格者には、合格通知と同時に共通 I の案内・申込書を送付する。

共通 I の申し込みは各競技団体が取りまとめる為、実際は「JTU 中級指導者が JTU に申し込み（※）→JTU が日体協に転送」という流れとなる。

3. 共通 I 受講料 21,000 円  
 指導員登録料 初回 13,000 円（4 年間）  
 更新 10,000 円（4 年間）

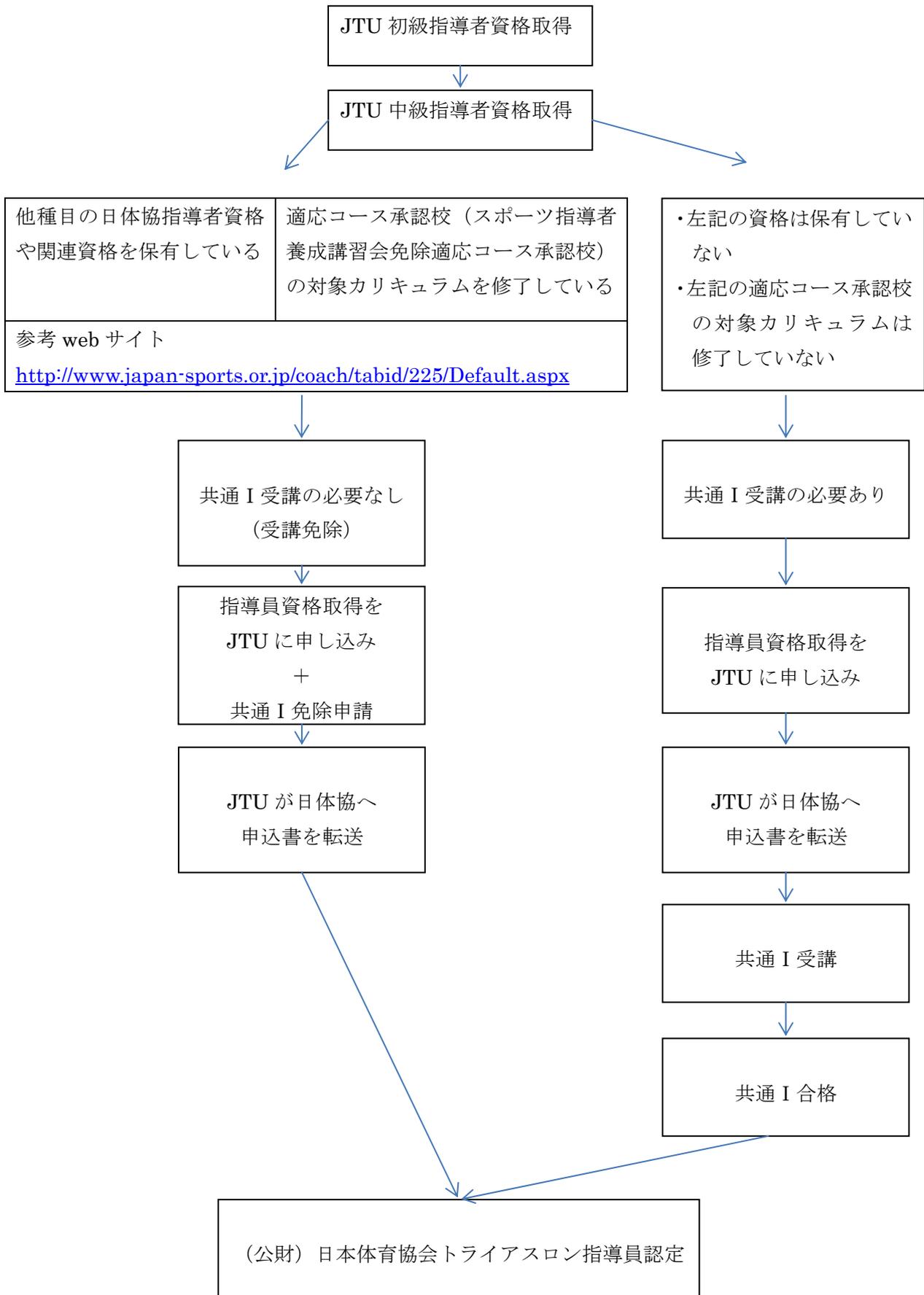
## 4. 共通 I 受講免除規定

他種目の日体協公認指導者資格や関連資格保有者、免除適応コース承認校（大学）卒業者は、共通 I の受講が免除される。上記（※）の際に共通 I 受講免除の申請を行う。該当資格等は下記の資料を参照。

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/pdf/14.pdf>

以上

# 指導者資格取得手順



更新：2012年4月1日

- ①2013年から、国体の正式競技の監督は日体協資格保有が義務となります。
- ②公開競技の監督は「日体協資格保有者が望ましい」と、やや緩和された規定となっています。
- ③2013年の時点では、トライアスロンはまだ公開競技です。
- ④2016年から、トライアスロンは正式競技となります。

従って、2016年以降は日体協の資格を持っていないとトライアスロン競技の監督には就任できません。

- ⑤対象となるのは、指導員、上級指導員、コーチ、上級コーチ、教師、上級教師の6資格です。
- ⑥どの資格を保有義務とするかは、各競技の中央競技団体（トライアスロンの場合はJTU）が決定します。
- ⑦2012年現在、トライアスロンの指導者資格で認定されているのは「指導員」のみです。

従って、現状では「日体協公認トライアスロン指導員」の資格を保有していれば、国体の監督に就任する条件を満たします。

- ⑧指導員資格の取得に必要な「共通I」の受講日程は、毎年一定の期間に決められています。

2016年の国体に間に合わせるためには、前々年（2014年）までにJTU中級指導者資格を取得して、共通Iを受講し、前年（2015年）に指導員登録を済ませなければなりません。

◎最短の指導員資格取得日程

- 2013年3月まで JTU 初級指導者養成講習会受講
- 2014年3月まで JTU 中級指導者養成講習会受講
- 2014年4月 JTU 中級指導者登録
- 2014年6月 共通I申し込み（JTU 中級指導者のみ申し込みが可能です）
- 2014年9月～11月 共通I学習
- 2015年1月 共通I修了証明書送付
- 2015年6月 合格証・登録申請カード送付
- 2015年10月 指導員登録
- 2016年 国体開催

以上

# 8

## (公社) 日本トリアスロン連合 (JTU) 指導者資格に係るメール送信先と担当

### [1] 申請書類の送付先

- 1) JTU 指導者養成委員会 (担当: 矢野委員長) メール: stay-dream.ryu@rapid.ocn.ne.jp
- 2) JTU 事務局メール: jtuoffice@jtu.or.jp

### \*メール送信時の基準

- ・上記に同報送信する。「件名」は次のように明記する。

例. 「初級指導者資格の登録申請」、「初級指導者資格の更新申請」、「中級指導者資格の再交付申請」など

### [2] 支払先

郵便振替 口座番号 00120-9-38851

「日本トリアスロン連合」

### [3] (公社) 日本トリアスロン連合 (JTU) 所在地

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-9-10 青山キングビル 3F

TEL: 03-5469-5401 (代)

FAX: 03-5469-5403

Eメール: jtuoffice@jtu.or.jp

ウェブ: <http://www.jtu.or.jp/>

\*2012年4月1日現在資料

=以上=